

第39回田沢湖マラソン クマ出没等対応マニュアル

目的

本マニュアルは、第39回田沢湖マラソンにおけるクマの出没情報について、迅速かつ適切な連携（情報収集・共有と、現場対応）体制を構築し、参加者および関係者の安全を確保することを目的とする。

クマ出没に関する体制と役割分担

組織	役割	関係機関		主な業務
大会本部	総合対応	警察	消防 医務・救護	情報収集・集約、対応決定（中止等の判断、現場対応の指示）
市農林商工部	専門的対応			大会本部との情報共有、猟友会との連携、現地対応支援
コーススタッフ、シャトルバス	現場対応	救護事業者		大会本部との情報共有、関係者（ランナー、スタッフ等）の避難誘導等

忌避対策

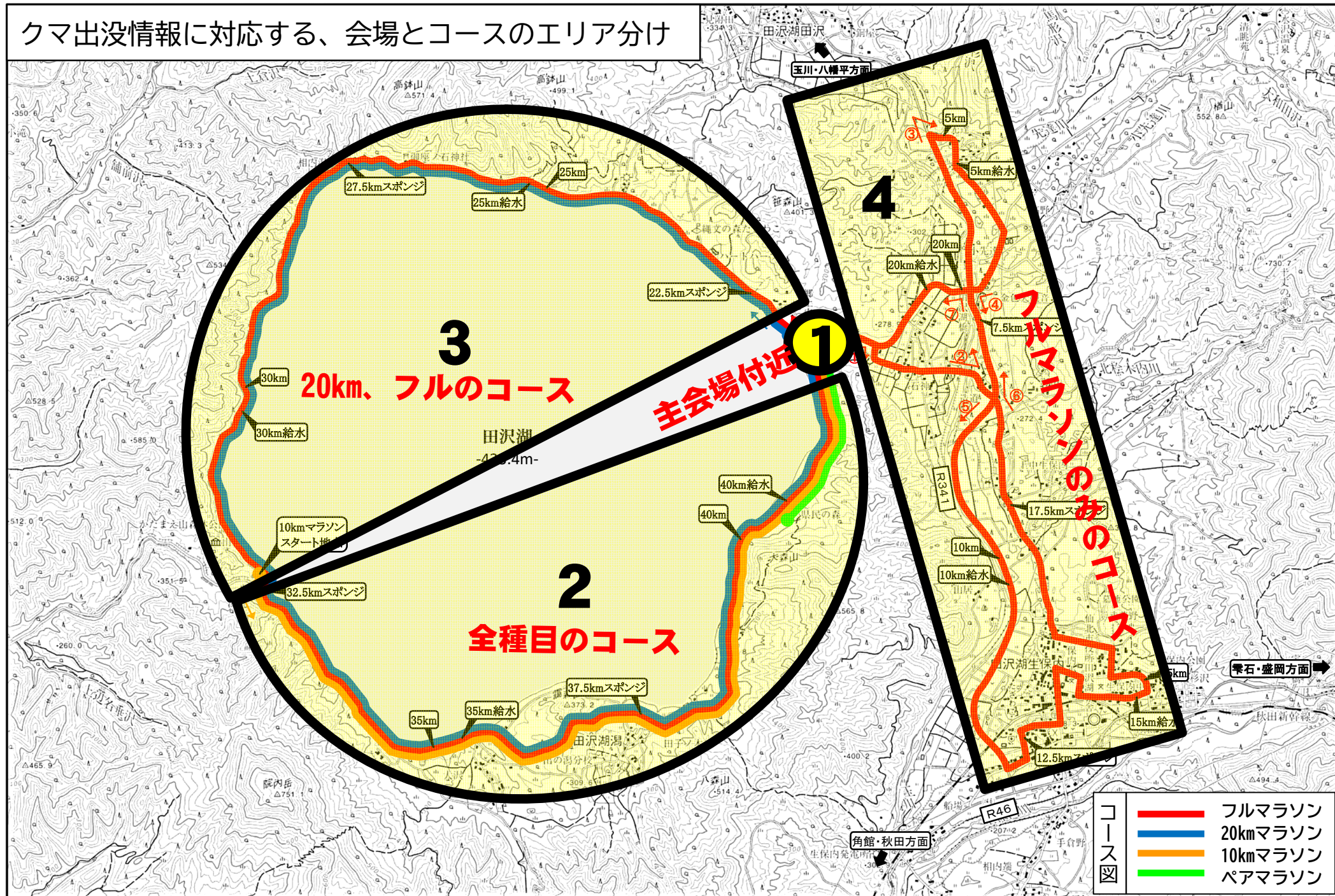
爆竹、フエ、獣よけ線香、周波発生機（特定地点）等の配備　〔給水・スポンジポイント、関門、バイク隊など〕

鈴の着用の推奨　〔ランナーへのお願い〕

威嚇音を発しての早朝巡回、先導車等の放送

クマスプレー　〔救護車〕

クマ出没情報に対応する、会場とコースのエリア分け



クマ出没時の対応

エリア	期 日	9/17(木)	9/18(金)	9/19(土)	9/20日(日)			
		(3日前)	(前々日)	(前日)	～5時	～8時30分	～9時	9時～
	(出没場所)			前日受付	コース巡回	フルマラソン スタート	フル以外スタート	全種目開催中
1	主会場 付近					原則中止		
2	全種目の コース	人的被害が発生し、クマの 駆除が確認できていない場 合など、安全が担保されて いないと判断した場合は、 原則中止			フルは湖畔（会場）まで。フル以外は原則中止（出没 場所によっては、ペアマラソンの開催を検討）			フルは、随時対応
3	20km、フルの コース				フルは湖畔（会場）まで。20kmは中止。10kmとペア は実施			フルは随時対応。 20kmは中止。 10kmとペアは実施
4	フル（のみ） のコース				フルマラソンは中止し、フルラン ナーは、種目変更(20km)調整。		出没地点に未到着のフルランナーは、 その時点で中止。出没地点を通過済 みのランナーは継続。	

大会車両とシャトルバスは、9時30分（この時間まで湖畔は車両通行止め）前でも、出没地点に車両で向かい、ランナーやスタッフの収容と警護にあたる。

湖畔は、原則として時計回り（収容後、速やかに車両が移動できるようにするため）

フルを湖畔（会場）までとした場合、ランナーが阿気坂（県道38号）を下りながら湖畔に向かって来たら、しらはま手前の三叉路（T字路）を左折。県道60号を約160m下り、槎湖の前を（急激に）Uターンしゴールするよう誘導する。

情報の伝達は、本部からの無線や電話（固定・携帯）による連絡のほか、本部から発車する自動車隊、コース上の救護バイク隊への救護本部からの連絡により、無線や携帯電話で連絡が取りにくい地点に伝達する。

クマ遭遇時の対応

ゆっくりと後ずさりしながらクマとの距離をとり、静かにその場を立ち去ってください。

背中を見せたり、走って逃げないでください。

住宅地では建物や車の中に避難してください。

避難が間に合わない場合は、攻撃を受けづらくするため、電柱や塀など、自分とクマとの間に遮蔽物を挟むようにしてください。

■秋田県ホームページ
「ツキノワグマ情報」

[ツキノワグマ情報 | 美の国あきたネット](#)



万が一襲われそうになった場合、は、顔や首を守る防御姿勢（右、右下写真）をとってください。

クマによる事故では、首から上を損傷することが非常に多いです。

「命に別状はありません」と報道されていても、決して軽い怪我ではなく、顔面麻痺や失明に至る重傷の場合も多く発生しています。

万が一の際は、防御姿勢によって顔の大きな損傷を防いだり、首や頭を守ってください。

